

# 「芭蕉布展」イベント im 沖縄県立博物館・美術館

\*イベント詳細は展覧会ホームページをご覧ください

## 文化講座 \*当日先着順

10.26 (土) 喜如嘉の芭蕉布と無形文化財  
◎1階 博物館 講座室  
◎14:00~16:00  
◎生田ゆき氏  
(文化庁文化財第一課工芸技術部門文化財調査官)

11.16 (土) 喜如嘉の芭蕉布  
◎3階 講堂  
◎14:00~16:00  
◎平良美恵子氏(喜如嘉の芭蕉布保存会 会長)

## 学芸員講座 \*当日先着順

10.12 (土) 美しい布 芭蕉布  
◎1階 博物館 講座室  
◎14:00~16:00  
◎篠原あかね(当館学芸員)

11.9 (土) 芭蕉とシマの生活誌  
◎1階 博物館 講座室  
◎14:00~16:00  
◎大城沙織(当館学芸員)

## ワークショップ \*事前申込制

10.13 (日) 芭蕉布を羽織ってみよう 着衣体験  
◎1階 実習室  
◎10:00~12:00  
◎篠原あかね(当館学芸員)・大城沙織(当館学芸員)

11.10 (日) 芭蕉から糸をつくろう うーうみ体験  
◎1階 実習室  
◎14:00~16:00  
◎喜如嘉の芭蕉布保存会

## 展示解説会 \*当日先着順

\*当日有効の「芭蕉布展」観覧券が必要です  
10.26 (土) 第4章の展示(喜如嘉の芭蕉布)について  
◎3階 特別展会場  
◎13:00~13:30  
◎平良美恵子氏(喜如嘉の芭蕉布保存会 会長)

11.1 (金) 第1章~第3章の展示について  
◎3階 特別展会場  
◎18:00~19:00  
◎篠原あかね(当館学芸員)・大城沙織(当館学芸員)

## 映画上映会 \*事前申込制

11.17 (日) 海燕社の小さな映画会コラボ企画(無料)  
「芭蕉布を織る女たち 一連帯の手わざー」  
企画製作: ポーラ伝統文化振興財団/1981年  
監督: 村山英治/制作協力: 桜映画社(30分)  
併映: 「武州藍」(民族文化映像研究所製作/1986年)  
◎3階 講堂  
◎14:00~15:30  
◎事前申し込み先: (海燕社)  
Tel.098-850-8485 / mail@kaiensha.jp

## コンサート

11.30 (土) おきげい出前コンサート  
琉球舞踊鑑賞会  
芭蕉布衣装と琉球舞踊の競演をお楽しみください。  
◎エントランスホール  
◎15:30~16:00 / 16:30~17:00  
◎出演: 沖縄県立芸術大学 音楽学部音楽学科  
琉球芸能専攻 学生  
同学科准教授 嘉数道彦氏

## 沖縄県内各地展示・イベント

かつては琉球各地で織られていた芭蕉布。沖縄各地の博物館にて展示いたします。ぜひ足を運んで地域の芭蕉布をご覧ください。

\*各展示・イベントについては各館にお問い合わせください

那覇市歴史博物館	那覇
【特別展】王家の芭蕉布／王家の宝剣	
会期: 2024. 10/4 (金) ~10/28 (月)	
会場: 那覇市歴史博物館 特別展示室	
住所: 沖縄県那覇市久茂地1-1-1 パレットくもじ4階	
◎観覧料: 一般350円 学生無料 (要証明書)	

名護博物館	名護
ワーク 着てみよう! むかしの着物	
糸芭蕉の総維で織られた芭蕉布を着用する 体验ができます	
会期: 2024. 10/1 (火) ~12/1 (日)	
沖縄の気候風土に適した日常着「芭蕉衣」を 着用する体验ができます	
会場: 名護博物館 古民家他 住所: 沖縄県名護市大中4-20-50	
◎体験料: 1回110円	

特別展示!屋部の久護家の「黒朝」	
会期: 2024. 10/1 (火) ~10/27 (日)	
会場: 名護博物館 2階特別展示室	
住所: 沖縄県名護市大中4-20-50	
◎観覧料: 名護博物館 常設展示観覧料がかかります	



- 開館時間 9:00~18:00 (金・土は20:00まで) \*入場は閉館の30分前まで
- Hours: 9:00am-6:00pm (Open until 8:00pm on Fridays and Saturdays)
- 休館日 毎週月曜日、10/15 (火)、11/5 (火) \*10/14 (月)、11/4 (月) は祝日のため閉館
- Closed: Every Monday, Oct 15, Nov 5. -Except Oct 14, Nov 4.

■観覧料 Museum Admission	
一般 General admission	¥1,200 (¥960)
高校・大学 HS, College, and University Students	¥800 (¥640)
小・中学 Elementary, JHS Students	¥300 (¥240)

\* ( ) 内は前売料金および20名以上の団体料金 \*未就学児無料  
\*障がい者手帳、療育手帳をお持ちの方、および介助者の方1名は当日料金の半額  
\*Prices shown in ( ) are rates for tickets purchased in advance and for groups of 20 or more.  
\*Preschool aged and under have free admission.  
\*People with disabilities and one accompanying caregiver are eligible to receive 50% off their admission fee on the day of their visit. (Please bring an ID for verification.)

お問い合わせ先  
〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1  
TEL: 098-941-8200 (代表)



沖縄県立博物館・美術館  
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum  
あなたの沖縄に出会う



Bashofu: A Textile Woven with Ito-basho Plant Fibers  
and Imbued with the Heart and Mind of its Weaver

2024. 10.1 (火) ~ 12.1 (日)  
沖縄県立博物館・美術館  
3階 博物館企画展示室・特別展示室1・2  
In the Special Exhibition Rooms (3F) of the Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

主催: 沖縄県立博物館・美術館 共催: 大宜味村、喜如嘉の芭蕉布保存会 特別協力: 沖縄タイムス社  
後援: 株式会社エフエム沖縄、株式会社エフエム那覇、NHK沖縄放送局、FM琉球株式会社 (FMレキオ)、大宜味村教育委員会、沖縄県教育委員会、沖縄ケーブルネットワーク株式会社、沖縄テレビ放送株式会社、琉球朝日放送株式会社、琉球新報社、琉球時報社  
協力: 石垣市立八重山博物館、(一財)沖縄美ら島財團、宇流城村教育委員会、沖縄県公文書館、沖縄県平和祈念資料館、沖縄県立芸術大学附属図書館、芸術資料館、沖縄県立図書館、株式会社海燕社、喜如嘉芭蕉布事業協同組合、久米島博物館、世界遺産喜味城跡ユンタンザミュージアム、東京国立博物館、那覇市歴史博物館、名護博物館、日本民藝館、南風原町立南風原文化センター、芭蕉布織物工房、宮古島市総合博物館、与論民活村



Bashofu: A Beautiful Textile

## 第1章 美しい布 芭蕉布

軽やかで涼し気な芭蕉布は高温多湿な琉球に適した素材で、琉球王国時代には老若男女身分の別なく身に着けられてきました。本章では琉球士族の官服である朝衣や士族の女性たちが身にまとった色鮮やかな芭蕉布などの逸品をお楽しみください。

1

## 第2章 衣文化を支える 植物

Plants that sustain  
the clothing culture

イトバショウ繊維

(現代 喜如嘉の芭蕉布保存会)

芭蕉布づくりは畑づくりからはじめます。琉球の気候風土だからこそ、生き生きとしたイトバショウが育ち、豊かな染織文化が育まれました。本章では美しい繊維となるイトバショウをはじめとして、染料など衣文化に役立てられた植物について紹介します。

3

Bashofu:  
Telling the story of life  
in the Ryukyu Islands

## 芭蕉と シマの生活誌

芭蕉布は琉球の各地で織られ、人々の衣生活を支えてきました。地域ごとの特色がみえる芭蕉布のほか、特別な祭祀で着用された神衣裳やワンピースに仕立て直された芭蕉布など、人々の生活に根付いた芭蕉布の文化について、歴史・民俗の視点から紹介します。



芭蕉苧麻浅地格子絆着物  
(19世紀 沖縄県立博物館・美術館)

芭蕉絆縫着物  
(20世紀 沖縄県立博物館・美術館)



芭蕉ワンピース (20世紀 沖縄県立博物館・美術館)



思  
う  
生  
う  
苧  
から  
績  
う  
まれ  
る

芭蕉は苧(繊維)が績まれる(繋がれる)ことで布になります。  
芭蕉布には績む人、織る人、着る人の思いが込められています。

琉球を代表する織物の一つ、芭蕉布一。

本展では植物としての芭蕉やそこから織られる芭蕉布に注目するとともに、  
芭蕉の幅広い利用や歌謡の題材にとられた芭蕉なども取り上げ、  
芭蕉の美しさやその背景にある人々の暮らしと文化について紹介します。

Bashofu is made from ito-basho (plant fiber) which is spun (woven) into cloth.  
Bashofu is imbued with the thoughts and feelings of the people who spin, weave, and wear it.

Bashofu is one of the most representative textiles of the Ryukyu Islands. In this exhibition, we will showcase everything about bashofu, from the ito-basho as a plant to the bashofu textile as a craft. In addition, we will also focus on the wide range of uses for basho cloth as well as the poetry associated with it. Through this exhibition, we hope to introduce visitors to the beauty of bashofu and the lifestyles and culture of the people behind it.



赤地絆縫芭蕉布疏装着物  
(平成4年 芭蕉布織物工房)



喜如嘉の芭蕉布で作った草履や財布などの小物  
(昭和 芭蕉布織物工房)



岡山県知事感謝状 (昭和21年 個人蔵)



黄色地絆縫着尺  
(令和 芭蕉布織物工房)



## 第4章 喜如嘉の 芭蕉布

The Bashofu of Kijoka

「芭蕉布の里」と呼ばれる大宜味村喜如嘉は、戦後の芭蕉布復興において重要な役割を果たしました。喜如嘉の女性たちは芭蕉布の生産技術を今に織り伝えてきました。昭和49年(1974)には「喜如嘉の芭蕉布保存会」が結成され、重要無形文化財に指定され、今年で50年になります。喜如嘉美童(きじょかみやらび)の手わざによる芭蕉布をぜひご覧ください。



喜如嘉の風景

関連  
イベント

### 「芭蕉布の里」大宜味村 芭蕉布展コラボ 現地ツアー

10.5 (土)

10:00~15:00

定員: 20名 \*大宜味村集合・解散となります

お問い合わせ先: 大宜味村教育委員会 (0980-44-3006)

○主催: 喜如嘉の芭蕉布保存会 ○協力: 大宜味村教育委員会

○特別協賛: おぎぎんふるさと振興基金

\*保険料・材料費がかかります

11.2 (土)

11.3 (日)

11.4 (月)

11.14 (木)

### 第50回おおぎみ展 共同開催 喜如嘉の芭蕉布パネル・写真展

10:00~18:00 \*初日11:00~ \*最終日~17:00

会場: 大宜味村農村環境改善センターほか

○主催: 喜如嘉の芭蕉布保存会 ○協力: 大宜味村教育委員会

○特別協賛: おぎぎんふるさと振興基金

\*詳細は日本能楽協会公演会QRコードをご参照ください

### 楽しむ能「樂」プロジェクト! 大宜味村 能楽公演 演目「芭蕉」「土蜘蛛」

16:00 (入場15:30) ~17:30 (予定)

会場: 大宜味村立大宜味小中学校 体育館

○主催: 能楽協会 \*詳細は日本能楽協会公演会QRコードをご参照ください

